

介護情報基盤とは

介護に関する情報を電子化し関係者間で共有できる仕組みです。

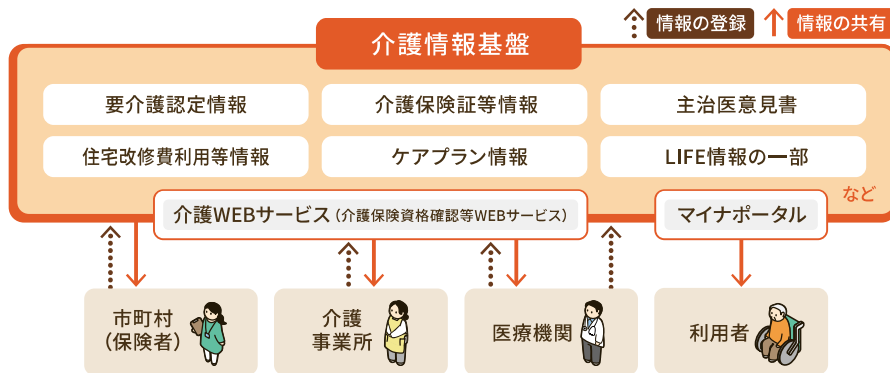
介護を取り巻く現場には、人材不足や複雑化する業務といった課題があります。その課題をデジタルの力で解決し、働きやすい環境をつくることを目指すのが、この「介護情報基盤」です。

事業所・市町村(保険者)・医療機関・利用者といった、介護に関わる方々の連携を強めます。複数のガイドラインに従って構築されているシステムとなるため、情報セキュリティが担保されています。

この仕組みから生まれるのは、人と向き合う時間。

ケアの質が高まり、利用者のご家族の安心や幸せにつながります。

ひとつの「基盤」の上で、介護に関わるすべての人が支え合うチームとなっていきます。



3つのメリット



事務作業の効率化



紙での手間や負担がかかる作業が減り、より素早く、容易に仕事を行えます。



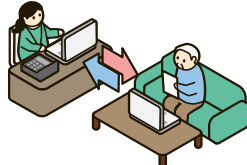
情報をひとつに集約



介護保険資格・認定情報、主治医意見書、ケアプランなどの情報をサービス間で共有できます。



手続きをリアルタイムで



介護に関する申請・提出・受信・確認などの作業を、郵送や電話を介さずオンラインで完結できます。

介護情報基盤が実現できること

利用者みなさま

- **マイナポータル上で介護保険証等の情報なども確認**できるようになります。
- **要介護認定**に関わる事務作業が電子化されることで、**要介護認定審査にかかる時間の短縮**が見込めます。
- 介護保険証等を紛失しても、**災害や緊急時に安心して介護サービス**を利用できます。
- 市町村と事業所の連携により、**さらに寄り添ったサービスが利用**できます。



市町村みなさま

- 書類の交付や要介護認定申請に関連した**印刷・発行・郵送の業務が軽減**。窓口での**対応も節減**できます。
- 介護事業所や医療機関が、要介護認定の進捗など必要な情報を自ら確認できるようになるため、**問い合わせへの対応が軽減**されます。



介護事業所みなさま

- ケアマネージャーや職員が、**要介護認定の進捗等の情報やケアプラン作成に必要な情報などを、タイムリーに確認**できます。
- 給付に必要な情報をデジタル上で確認できるため、利用者や家族への確認や依頼、市町村への**問い合わせの負担が減り**ます。
- 効率化により**本来的なケアに集中**できます。



医療機関みなさま

- 主治医意見書や請求書類などがオンラインで扱えるようになり、**印刷・郵送の手間やコストが削減**されます。
- 居宅療養管理指導などに必要な情報が連携され、**スピーディーな現場対応**も可能に。
- **利用者の状態を細やかに把握**できるようになり、さらに**寄り添ったサービス提供**へ。

